大阪保健医療大学アセスメントプラン

【令和 2（2020）年 11 月制定／令和 4（2022）年 2 月改定／令和 5 (2023) 2 月改訂】

大阪保健医療大学は、目指す学修成果の最終到達点（最終的な学生の学びの内容と水準）であるディプロマ・ポリシーを達成するためのステップ（各期間や時期の科目成績や卒業・修了要件達成表等で示されるディプロマ・ポリシーの具体的・段階的内容）を学修成果として定め、本学における学修成果の到達度を測る指標として、アセスメントプランを制定する。この結果を自己点検・評価して検証し、教育活動の改善に活用する。また、アセスメントプランを公表することにより、学生の理解や社会への大学教育の可視化や質の保証を目指す。

【検証対象】
- ・アドミッション・ポリシーを満たす人材であるか（であったか）の検証
- ・カリキュラム・ポリシーに基づき、学修が進められているか（いたか）の検証
- ・ディプロマ・ポリシーを満たす人材になるか（なったか）の検証

【検証レベル】
- ・学位プログラムレベル（学部（各専攻）・専攻科・研究科）：①　②　③
- ・授業科目レベル：④
- ・大学全体レベル：⑦　⑨

【検証方法】

<u>学部（各専攻）・専攻科・研究科</u>

① 各学生のディプロマ・ポリシーの達成度評価における評価対象ごとに定められた尺度（「卒業・修了要件達成表」（GPA、実技試験評価表、臨床実習評価表など）、研究科は「大学院修士課程修士論文審査票」・「学位（修士）論文審査及び最終試験結果報告書）」および関連科目の得点）を集計し、ディプロマ・ポリシーの各項目を分析するに必要な指標（国家試験合格率、就職状況調査、授業評価アンケート、学生生活アンケート、卒業（修了）後の就職先に対する調査、修了生所属施設へのアンケート、卒業（修了）者に対する調査、卒業時に卒業生からみた教育環境や学生生活に対する評価、研究科の退学率等）を加えて、ディプロマ・ポリシー各項目の達成度を分析する。

② カリキュラム・ポリシーに基づき順調に学修が進められているか（いたか）を検証し、また、ディプロマ・ポリシーの到達度から、ディプロマ・ポリシーを達成するためのカリキュラム・ポリシーとなっているか（いたか）を検証する。

③ ①および②の分析から、アドミッション・ポリシーが妥当（だった）か、また、アドミッション・ポリシーを満たす人材が選択できているか（いたか）を分析し（研究科では指導教授が中心となり、記述式の分析も含む）、入試方法等の検証・改善に反映させる。

④ ディプロマ・ポリシー各項目を達成するためのカリキュラム・ポリシーの項目に該当する科目を特定して、授業評価アンケート（研究科では科目担当者の記述式による分析も含む）等、必要な指標を用いて各科目の評価方法の妥当性を分析する。

⑤ ①～④の分析結果をレポートとしてまとめ、5 月末を目途に学部（各専攻）と専攻科は大学運営会議に、研究科は大学院運営会議に提出する。

⑥ ⑤の内容は、毎年 6 月から作成する自己点検評価報告書に反映させ、内部質保証システムに則り、成果や改善向上方策を自己点検して、事業報告、事業計画、中期展望及び期間中の取り組み（5 ヵ年計画）に反映させる。

大学運営会議

⑦ 大学運営会議では、提出された検証レポートを統合し、大学全体として学修成果の到達状況を評価・検証するとともに、学位プログラムの改善や三つのポリシーの見直し等につなげていく。

⑧ ⑦の内容は、毎年 6 月から作成する自己点検評価報告書に反映させ、内部質保証システムに則り、成果や改善向上方策を自己点検して、事業報告、事業計画、中期展望及び期間中の取り組み（5 ヵ年計画）に反映させる。

大学院運営会議

⑨ 大学院運営会議では、提出された検証レポートを分析して、学位プログラムの改善や三つのポリシーの見直し等につなげていく。

⑩ ⑨の内容は、毎年 6 月から作成する自己点検評価報告書に反映させ、内部質保証システムに則り、成果や改善向上方策を自己点検して、事業報告、事業計画、中期展望及び期間中の取り組み（5 ヵ年計画）に反映させる。

アセスメントプラン（評価の方針）　補足資料（学部・専攻科、大学院）理学療法学専攻：P／作業療法学専攻：O／言語聴覚専攻科：S／大学院：院

	ディプロマ・ポリシーを満たす人材になるか（なったか）の検証	カリキュラム・ポリシーに基づき、学修が進められているか（いたか）の検証	アドミッション・ポリシーを満たす人材であるか（あったか）の検証
	①ディプロマ・ポリシーに関する評価・検証（主に卒業時・卒業後）	②カリキュラム・ポリシーに関する評価・検証（主に在学中）	③アドミッション・ポリシーに関する評価・検証（主に入学前・入学後）
大学・大学院レベル	大学運営会議・大学院運営会議にて、提出された検証レポートを統合し、大学全体として学修成果の到達状況を評価・検証する学位プログラムの改善、3つのポリシーの見直しにつなげる		
	GPA（卒業時）：P/O/S 国家試験の合格率：P/O/S 就職率：P/O/S 卒業・修了要件達成表（卒業時）：P/O/S 卒業生調査：P/O/S 就職先・修了生所属施設アンケート：P/O/S/院 大学院修士課程修士論文審査票：院 論文審査及び最終試験結果報告書：院	GPA：P/O/S 進級率・退学率・休学率：P/O/S/院 学生生活アンケート：P/O/S 卒業・修了要件達成表：P/O/S	各種入学試験：P/O/S/院 GPA（1年修了時）：P/O/S 進級率・退学率・休学率（１年次）：P/O/S/院 入学者調査（AP理解度）：P/O/S
学科・領域レベル	専攻、専攻科、領域毎に、下記項目にて評価・検証を行う		
	GPA（卒業時）：P/O/S 国家試験の合格率および成績分布：P/O/S 就職率：P/O/S 卒業・修了要件達成表（卒業時）：P/O/S 卒業生調査：P/O/S 就職先・修了生所属施設アンケート：P/O/S/院 関連科目の成績：院	GPA：P/O/S 進級率・退学率・休学率：P/O/S/院 学生生活アンケート：P/O/S 卒業・修了要件達成表：P/O/S 授業評価アンケート（オプション）：P/O/S/院 全学一斉試験（オプション）：P/O	各種入学試験：P/O/S/院 指導教員を中心とする記述式の分析：院 GPA（1年修了時）：P/O/S 進級率・退学率・休学率（１年次） およびその要因：P/O/S/院 入学者調査（AP理解度）：P/O/S プレースメントテスト（オプション）：P/O 全学一斉試験（オプション）：P/O
授業科目レベル	各科目担当者により、下記項目にて評価・検証を行う。		
		成績評価（平均値、分布、単位取得率など）：P/O/S 授業評価アンケート：P/O/S/院 科目担当者の記述式による分析：院	

＊オプションを検証に用いるか否かの判断は、各専攻・専攻科・各領域の判断に委ねる。